

学長賞のお礼

私は、教育職員業績評価から「学長賞」を戴くこととなりました。全く思ってもみなかったことですが、御礼申し上げます。私の所属する部門は、平成19年に医療電子コースとして設立されました。平成26年に医療工学コースと名称を代え、平成30年現在12年間の月日が過ぎました。現在、当コースには全学年で約150名の学生がおり、長崎総合科学大学のなかで最も学生数が多いコースと成長致しました。卒業生は100数十名とまだ少ないですが、その多くは医療系企業や臨床工学技士として病院で活躍しています。まずは、本コースの設立にご尽力戴きました皆様の先見の明に驚嘆すると共に、心より感謝申し上げます。

さて、簡単に自己紹介をさせて戴きたいと存じます。私は、昭和51年に長崎西高等学校、昭和57年に長崎大学医学部を卒業し、その後、当時第1内科という医局に入りました。その後、研修医を経て、神経内科の医師となりました。平成5年から2年間、英国オックスフォード大学に留学し、重症筋無力症やランバート・イートン筋無力症候群の研究をさせて戴きました。その後、長崎大学病院に戻り、研究者として、あるいは、神経内科の医師として医療の現場に携わってきました。平成25年から、当時医療電子コース教授の谷山紘太郎先生のご推薦で、長崎大学病院から当大学に異動となりました。当時、谷山先生に相談させて戴き、「これまでの研究を継続しながら定年まで、当大学で頑張ってください。」というご助言を戴きました。その後、当コースの先生方のサポートにより、長崎大学で研究と臨床を続けさせて戴いております。平成27年から、医療工学コースのコース長を拝命しました。平成28年に谷山先生は定年を迎え、神戸へ戻られましたが、その後も、工学フォーラムなどご指導を仰いております。今回の受賞は、これまでの研究が評価されたのではと思っており、今後とも、谷山先生のご助言を守って行きたいと考えております。

末尾となりましたが、この学長賞を戴くにあたり、これまで本コースを発展させて戴きました各先生方と担当事務の皆様へ深く御礼申し上げます。

平成30年6月吉日

長崎総合科学大学 医療工学コース

本村政勝